

市民公開講座のお知らせ

神戸医療センター

<http://www.kobemc.go.jp/>

「前立腺癌と Bone Health (骨の健康)、尿失禁について」

講師：神戸医療センター

泌尿器科医長 大岡 均至 先生

【ひとこと】 前立腺癌の罹患率は、米国では人口10万人当たり130人(1991)と高く、本邦では40.2人(2006)と米国に比べてかなり少なめです。本邦では、前立腺癌は男性悪性腫瘍の中で、胃癌、大腸癌、肺癌に次いで4番目に多いですが、2020年には、罹患率は肺癌に次いで第2位になると予想されています。死亡率は早期発見が増加しているため、人口10万人当たり7.7人(2009)と高くはありませんが、早期発見のための定型的な症状が無いため、PSAのスクリーニング等が大切です。進行性前立腺癌の約8割が骨転移を起こすことが知られており、部位は骨盤と腰椎、胸椎、肋骨等に多く認められます。転移骨は外力に弱く脊椎の骨折や神経障害(運動麻痺や呼吸障害等)が起こることもあります。好発年齢は50歳以降ですので、転移のない前立腺癌の場合でも骨強度の低下が起こり始める(骨粗鬆症)時期でもあります。ですから、骨に転移がなくても骨の状態を健康な(折れにくい)状態に保っておくことが大切になります。今回のお話では、特に『骨の健康』について前立腺癌や他科の疾患(糖質・脂質代謝異常、動脈硬化等)との関わり合いを踏まえて勉強します。さらに、性別を問わず排尿時に大変つらい『尿失禁』についても解りやすく説明したいと思います。

■日時：平成 25 年 7 月 18 日 (木) 15:00 ~ 16:30

■場所：神戸医療センター 2F 地域医療研修センター会議室 3

定員 100 名・自由参加・予約不要で無料です。

問い合わせ先：TEL 078-791-0111 地域医療研修センター長 堀 啓一郎